

こもれび通信

2023年10月 No.33

企業組合労協センター事業団

多機能福祉施設こもれび

〒998-0865山形県酒田市北新橋二丁目1-16

TEL:0234-28-8255(代)

FAX:0234-26-6672

Mail:sakata@roukyou.gr.jp

- ◆就労移行支援あおば
- ◆就労継続支援B型こだち
- ◆就労定着支援みのり
- ◆生活困窮者就労準備支援さざし
- ◆若者相談支援拠点ひなた
- ◆放課後等デイサービスこえだ

こもれびは
こどもからおとなまで
安心できる大きな木のたもとで
木漏れ日を浴びながら
のびのび成長していけるように
お手伝いしていきます

所長挨拶

日頃より、多機能福祉施設こもれびの活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。こもれびでは、利用者さんの親亡き後を見据え、将来の自立を目指し、日々事業所活動に取り組んでいます。誰もが自分らしく安心した生活ができるよう、地域の支え合い環境を充実していくことも重要と考えており、関係機関や地域住民の皆様との協働活動を今号では報告させていただきます。これからも、皆様からの応援とご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

職員紹介

就労継続支援B型支援員 須田結衣さん。漢字一文字で表すとたくさんの良い意味を持つ「安」です。温和で穏やかな人柄で、誰と接しても心配のない安心感を持たせてくれます。仕事ぶりでも口数は少ないものの不言実行、周囲に満足を与え、任せて安心、信頼され、頼りになる職員です。これからもよろしくお願い致します。



就労移行支援あおば

7月20日(木)、土門拳記念館と山居倉庫へレクリエーションに行ってきました。ワークで目的地や過ごし方、タイムスケジュールをメンバーで話し合ったり、旅のしおりを作ったりして準備をしました。

往復の車内では、「怖い話」や「おすすめのもの紹介」などのテーマで1人ずつ話をして楽しみました。土門拳記念館では、食パンに食いつく鯉の群れに度肝を抜かされました。池の周りを散策し、少し時期は過ぎていましたが紫陽花も楽しめました。山居倉庫では、あれこれおしゃべりしながら最近の酒田のお土産品を見て回りました。自分たちで企画した計画に基づいて実施する、という経験を重ねることで、話し合いながら物事を進めていく力を身に付け、自信につなげることができればと思っています。

おめでとう!

9月までに就労移行支援あおばと就労継続支援B型こだちからそれぞれ1名ずつ、2名の方の就職が決まり、勤務を始めています。おめでとうございます。継続していけるよう、みんなで応援しています!



放課後等デイサービスこえだ

子どもたちお待ちかねの夏休み!満喫しました!みんなで加茂水族館へ遠足に行ってきました。こえだの遠足は初めてというお子様もおり、みんなで楽しんできました。ゆらゆら泳ぐクラゲをじっくり見つめる子、大きなアシカにびっくりする子、お土産を楽しく選ぶ子、収穫盛りだくさんの遠足となりました。またワークスコープ福島エリアより、保育士の応援をいただき、室内でも楽しめる感覚遊びをたくさんすることができました。毎日の送迎やお弁当の準備等、保護者の皆様ご協力ありがとうございました。



就労継続支援B型こだち

6月30日にこだちメンバーは特別な時間を過ごしました。普段とは違う環境で、利用者さんたちは笑顔で溢れて楽しんでいました。はじめにクラッセへ買い物に出かけ、お気に入りの品物を手に入れました。買い物の楽しみを共有しながら親睦を深めました。その後、八幡神社に移動して神秘的な雰囲気にもまれながら公園を散策しました。自然の美しさと共に、心温まるひとときを過ごしました。

利用者さんが楽しい時間を過ごし、笑顔が多かったことは職員にとっても喜びの瞬間でした。



こだちでは5月から介護施設の清掃作業に行っています。1日に居室20部屋と共有スペース2カ所をこもれびの利用者様1人でモップ掛けや水回りの掃除、ゴミ捨てなど行います。最初は道具の使い方や時間配分にも苦労しましたが、今では作業全般を1人で出来るようになり、自信を持って作業に向かっています。入居者様が気持ち良く過ごせるよう丁寧な作業心がけていきます。

若者相談支援拠点ひなた

「ひなた活動」

県の委託事業となる若者相談支援拠点ひなたは、不登校やひきこもりのご本人や家族、関係者等から相談を受けています。家族教室「ぬく森の会」は月1回、「フリースペース」はこもれびはもちろん、庄内町・遊佐町、酒田市内でも定期的に開設しております。フリースペースの部屋を見たい、様子を知りたいなど利用するか悩み中の方も問合せをお待ちしています。詳しくはこもれびホームページをご覧ください、皆様のご利用をお待ちしています。

「富士見小活動紹介」

令和5年9月より酒田市立富士見小学校にてフリースペースを開設しました。酒田市教育委員会との協働事業の一つとして始まりました。富士見小学校の先生たちのご理解と声援を受け、不定期ながら学校内一室をお借りし開設しています。今後は公益大の先生や学生、院生からも協力していただき、開設回数を増やし、子どもたちとの交流を深めていきます。中間休みや昼休みになると元気いっばいの子どもたちが遊びにきて楽しんでいます。



9月23日(土)9:30~12:00

障がい者・生活困窮者

就職発表会

コロナ禍を経て
3年ぶりの開催!



開会のことは

就職までの取り組み、長く働き続けるための取り組みなどを、本人の頑張り、企業の工夫、こもれびの支援など、様々な視点から紹介していきます。

遠田副所長



こもれび利用者・職員、ご家族、支援機関職員、一般参加者合わせて52名が集まり、卒業生から就活体験や働いてみての気付き、また雇用先からのメッセージ等をお話して頂きました。情報交換会では活発に話し合いが持たれました。

あおば・こだち卒業生Hさん

情報交換会

利用者様、ご家族、支援機関の方など、所属ごとに4~6人のグループに分けられました。発表を聞いて感じたことや、日頃の困りごとなどを時間いっぱい話し合いました。発表者への質問もたくさん出して頂き盛り上がりました。横の繋がりを作るきっかけになったと思います。



所長挨拶

働き続けられる基礎の力を身につけるための支援を行っています。企業と定着支援部門とのチームで働くことを支えています。

食肉加工会社で、サンテナー(カゴ)の洗浄業務をしています。時短勤務から始めて、現在はフルタイムで働いています。仕事量が多い時は大変ですが、困った時は上司に相談しています。就職活動では何度も志望動機を書き直したことが大変でした。雰囲気分かるので、応募前に見学をする事をおすすめします。返事と挨拶が出来ることが大切です!

卒業生2名・雇用先担当者1名 3名より発表

(医)健友会 介護事業部次長 佐藤裕邦様 (Kさん雇用先)

佐藤所長



1番長い方で、
同じ職場に
9年10カ月勤
務しています!



こもれびの活動紹介

健友会で介護助手として勤務しています。先輩が親切で働きやすいです。就職は難しいと思っていましたが、目標が出来、気持ちを入れ替えて取り組みました。まだ課題はありますが、こもれびで報連相や、感情のコントロールを身につけておいて良かったと思います。正直介護の分野に苦手意識がありましたが、やってみたら合っていました。みなさんも、何事もチャンスがあれば、挑戦してみてください!

障がい者雇用がうまくいくか心配はありましたが、補助業務を担ってもらうことで、介護職員は助かっています。職場では、自分の状況を伝えられ、一般的な雑談が出来ること、また素直で明るく頑張れることなどが求められます。企業は誰もが働ける職場になるよう仕事を分析してみてください。特に外国の方や障がいのある方と接する中で、相手に伝わったのかを考えながら一緒に働くことの大切さを感じます。働きたい人が働ける社会になることを期待しています。

あおば・こだち卒業生Kさん



~参加者の声~

- ・就職した人の話を聞いて良かった。
- ・私も就職できるかもと思った。
- ・目標への向き合い方を知れて良かった。
- ・関係者へ働きかけ、情報交換にもっと力をいれて欲しい。
- ・自己理解の大切さを感じた。
- ・質問の時間が沢山あって良かった。
- ・職場に理解し支援してくれる方がいるとわかり、安心して社会に送り出せると感じました。



B型支援員佐藤&サビ管佐藤

各部門の対象者や、活動内容の説明等、6部門の活動を紹介しました。就労部門では、基本的な生活習慣や体調の安定と共に就職と職場定着を目指します。障がいの有無に関わらず地域の一員としての暮らしを幅広くサポートする事業所でありたいです。